

令和5年度第3回

柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合

一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）審議会

会議録

日 時 : 令和6年1月11日（木）
場 所 : 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合
クリーンセンターしらさぎ3階会議室

○日 程

○審議会

1. 開会

2. 議題

(1) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について

○出席委員（11名）

会 長	塚本 竜太郎	組合議会議員（柏市選出議員）
副会長	後関 俊一	組合議会議員（鎌ヶ谷市選出議員）
委 員	村越 誠	組合議会議員（柏市選出議員）
	寺本 真理	組合議会議員（鎌ヶ谷市選出議員）
	佐藤 浩	柏市議会議員（建設経済環境委員会委員長）
	小易 和彦	鎌ヶ谷市議会議員（都市・市民生活常任委員会委員）
	鈴木 實	柏市住民代表（柏市廃棄物処理清掃審議会委員）
	鈴木 勲	柏市住民代表（藤ヶ谷区）
	矢崎 博一	鎌ヶ谷市住民代表（鎌ヶ谷市廃棄物減量等推進審議会委員）
	小金谷 正男	鎌ヶ谷市住民代表（軽井沢自治会会長）
	伊藤 勝	学識経験者（江戸川大学名誉教授・学校法人江戸川学園評議員）

○欠席委員（1名）

委 員	磐田 朋子	学識経験者（芝浦工業大学 副学長）
-----	-------	-------------------

○説明のための出席者

事務局	萩原 勝	事務局長
	野澤 孝夫	事務局次長
	栗原 稔	クリーンセンターしらさぎ所長
	大竹 隆行	クリーンセンターしらさぎ計画係 係長
	松丸 悦卓	クリーンセンターしらさぎ管理係 係長
	岡田 壮玄	クリーンセンターしらさぎ計画係 主査
	高橋 徹	クリーンセンターしらさぎ再任用
構成市	原 晃一	柏市廃棄物政策課 課長
	中川 聡	鎌ヶ谷市クリーン推進課 課長

○傍聴者 0名

○審議会

1. 開会

2. 議題

(1) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について

〈会長〉

それでは、議題(1)一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について事務局より説明を求めます。

〈事務局〉

議題（1）一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について説明

〈会長〉

委員の皆さまからのご意見、ご質問等がありましたら、よろしく願いいたします。どうぞ。

〈A委員〉

目標値の設定、ご苦勞様でした。前回もお話させてもらったんですけども、非常に高い目標値であって、この目標を達成するのは、かなりの困難が予想されます。それなりの施策を考えていかなきゃならないと思うんですけども、今、このスケジュールを見た時に、検討という項目が非常に多い印象を持ちました。それで、実際に、例えば5年間、10年間検討して、その後どうするのか、それがちょっと見えないような気もするんですね。検討を10年間するっていうことは、ほとんど、やったかやらないか分からないような状況なんじゃないかなという印象を持ちますので、その辺について、もう少し分かりやすいとか具体的な施策が欲しいような気もしたんですけども、それについては、どのように事務局のほうで考えてらっしゃいますか。

それから、これだけの大きな目標を達成するにあたって、この10年間の中で、これはどうしても絶対やるんだっていう大きな目玉になるような施策があるのかどうか、分かる範囲でお聞きしたいんですけども。

〈会長〉

事務局、お願いします。

〈事務局〉

例えば、家庭系ごみにつきましては、令和4年度と比較して55グラム削減していくという目標になっております。ただ、現状のまま推移した場合、55グラムから35グラムは、現状の施策を維持していくことで下がる。そして、残りについては、今度は新しい施策を実施していくことで、ここから20グラム下がることになるんですけども、その20グラムにつきましては、調理くずの水切り効果や紙ごみの使用量削減の啓発、そういったものを実施していくことで、構成市と協力しながらにはなりますが、目標値の達成に努めていきたいと考えております。

〈A委員〉

今回、これだけの削減をするのであれば、何か目玉になるようなものを、市民に対してアピールするような具体案が何かあればいいかなっていう気はするんですけども。それがないと、今までどおり、ただ単に、ごみ減量、リサイクルしてくださいっていうようなことだけでは、なかなか、これだけの目標を達成するのは難しいんじゃないかという気がするんです。この計画では、これが目玉なんだというようなものはないですか。

〈事務局〉

今回、5章で新しく食品ロス削減推進計画を策定しておりますので、食ロス部分の削減を目玉として捉えていただければと思っております。

〈A委員〉

あとは、市民に対して、その啓発をいかにやるかということでしょうね。

〈事務局〉

今後、その辺については構成市と協力して取り組んでまいります。

〈会長〉

ほかに皆さま、いかがでしょうか。粗大ごみのリユースは、柏ではリボン館で、自分も家具などを格安で買ったり、ほかにも自転車がいっぱい並べてあったりとかしていますけれども、そういうのっていうのは、またこれから検討されるということですか。

〈事務局〉

はい。柏市では、確かにリボン館などがありまして、そこでリユースされているというのは存じ上げているんですけども、組合では現状、敷地的な問題で、なかなかそういうスペースが取れない状況ですので、今後はリユースアプリを活用したり、インターネットのリユースの掲示板のようなところと連携していければと考えております。

〈会長〉

どうしても、これだけの目標値を達成するためには、先ほどA委員がおっしゃったような目玉のようなものが必要だとすると、皆さん、温泉に入り、さわやかプラザ軽井沢に来られるので、そこで何か誘導するようなことをすれば、かなり大きな人目に付くと思うので、またそういうのも検討していただければ。ほかに皆さん、いかがでしょうか。特によろしいですか。

〈B委員〉

内容ではなくて表現の方法についてですが、多くの目標値がみんな%で表ができていて、それを説明する文章がグラム表記なのでわかりにくいんです。例えば、表でも燃やすごみは何グラムあるというように、グラムでも書いておいてくれば、何%かよく分かるわけです。それが書かれていないので、非常に読みにくいということがあります。以上です。

〈事務局〉

修正いたします。

〈B委員〉

あともう1つ、食品ロスの話です。食べ残しが少ないので問題ないのかなとは思いますが、食品を肥料にする場合、ないしは飼料にする場合の、牛や豚などが食べる時の塩分の問題というようなものがありますので、気を付けていただければと思います。以上です。

〈会長〉

ほかに、ご意見ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。それでは、皆さまからのご意見がないようですので、質疑を終わらせていただきます。以上で本日の議題は終

了となります。最後に事務局から連絡等はございますか。

〈事務局〉

次回、第4回審議会の開催につきましては、1月29日月曜日から2月9日金曜日の間で予定したいと考えております。後日、日程調整のためご連絡させていただきますので、よろしくお願いたします。以上です。

〈会長〉

それでは、本日の審議内容を踏まえて、事務局は必要な資料等の作成をお願いいたします。以上をもちまして、本日の審議会を終了いたします。慎重な審議、ありがとうございました。